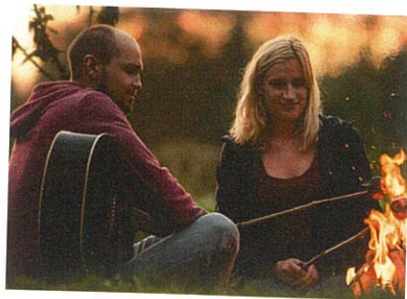


## 土和田湖星空キャンプ場

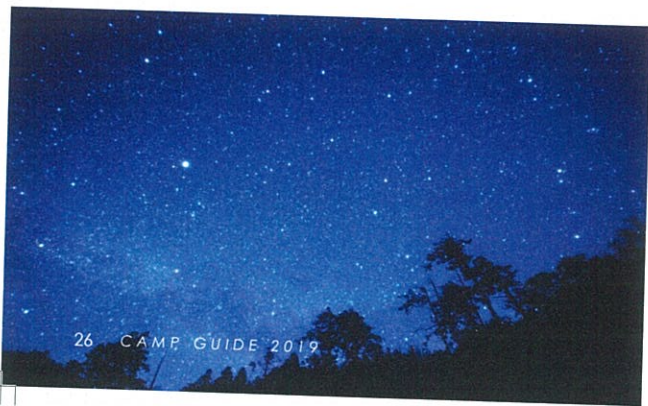
青森県土和田市大学奥瀬学字柳部十和田市10  
車でお越しの方▶東北自動車道・十和田ICより  
車で約00分、八戸駅より約1時間半、七戸十和  
田駅より約1時間00分、青森駅より約20時間。  
電話・0666-00-0000  
FAX・0000-00-0000  
E-mail・xxxxxxxxx@mail.com  
HP・http://www.xxxxxxx.com



の小さな星に見えるのです。ジョバンニさ  
んそうでしょう」  
ジョバンニは真っ青になってうなずきま  
した。けれどもいつかジョバンニの眼のな  
かには涙がいつぱいになりました。そうだ  
僕は知っていたのだ、もちろんカムパネ  
ラも知っている、それはいつかカムパネ  
ラのお父さんの薄志のうちでカムパネラ  
だ、それどころでなくカムパネラは、その  
雑誌を讀むと、すぐお父さんの書斎から大  
木の本をもってきて、ざんがというところ  
をひろげ、まっ白な頁いつぱいに白に点々  
のある美しい写真を二人でいつまでも見た  
のでした。それをカムパネラが忘れるは  
ずもなかったのに、すぐに返事をしなかつ  
たのは、たびたびかなり、朝にも夕にも仕  
事がつらく、学校に出てもうみんなとも  
はきはき遊ばず、カムパネラともあんな  
り物を言わないようになったので、カムパ  
ネラがそれを知ったときどくがってわざ  
と返事をしなかつたのだ、そう考えるとた  
まらないほど、じぶんもカムパネラもあ  
われないような気がするのでした。先生はま  
た言いました。  
「ですからもこの天の川がほんとうに  
川だと考えるなら、その一二つの小さ  
な星はみんなその川のその砂や砂利の粒  
にもあたるわけです。またこれを大きな乳  
の流れと考えるなら、もつと天の川とよく  
似ています。つまりその星はみな、乳のな  
かにまるで細かにうかんでいる脂肪の球に

## 光る粉すなわち星

このいちいちの光るつぶがみんな私ども  
の太陽と同じようにじぶんで光っている星  
だと考えます。私どもの太陽がこのほば中  
ごろにあつて地球がそのすぐ近くにあると  
します。みなさんは夜にこのまん中に立つ  
てこのレンズの中を見ますとしてごらん  
なさい。こつちの方はレンズが薄いのでわ  
ずかの光る粒すなわち星しか見えないう  
し。こつちやこつちの方はガラスが厚い  
ので、光る粒すなわち星がたくさん見えそ  
の遠いのはぼろと白く見えるという、こ  
れがつまり今日の銀河の説なのです。そん  
なからこのガラスの大きさがどれくらいある  
か、またその中の星についてはもう時間だ  
すから、この次の理科の時間に話しま  
す。では今日はその銀河のお祭りなのです



## 空と湖のキャンプ場

## 土和田湖星空キャンプ場

## 空と湖と星空と焚き火と

「はみなさんは、そういう風に川だと言  
われたり、乳の流れたとだと言われたり  
していた、このぼんやりと白いものが本  
は何かご承知ですか」先生は、黒板につ  
した大きな黒い星座の図の、上から下へ白  
くけぶつた銀河帯のようなところを指しな  
がら、みんなに問いをかけました。  
カムパネラが手をあげました。それか  
ら三、四人手をあげました。ジョバンニも  
手をあげようとして、急いでそのまゝやめ  
ました。たしかにあれがみんな星だと、い  
つか雑誌で読んだのでしたが、このころは  
ジョバンニはまるで毎日、教室でもねむ  
く、読む本も読むひまもないので、なんだ  
かどんなこともよくわからないという気持  
ちがするのです。ところが先生は早くも  
それを見つけたのでした。  
「ジョバンニさん。あなたはわかってい  
るでしょ。」ジョバンニは勢いよく立ちあ

がりましたが、立ってみるともうはつきり  
とそれを答えることができないのでした。  
ザネリが隣の机までのびかえって、ジョバ  
ンニを見てくすくすわらいました。ジョバ  
ンニはもうどきまぎしてまっ赤になつてし  
まいました。先輩がまた言いました。「大  
きな望遠鏡で銀河をよく調べると銀河は  
だいたい何でしょう」やつぱり星だとジョ  
バンニは思いましたが、こんどもすぐに答  
えることができませんでした。先生はしば  
らく困ったようでしたが、目がカムパネラ  
カマパネラに向かって、「ではカムパネラさ  
ん」と名指しました。するとあんなに元氣  
に手をあげたカムパネラが、やはりもじ  
もじ立ち上がったままやはり答えができま  
せんでした。  
先生は以外なようにしばらくじつとカム  
パネラを見ていましたが、急いで、「で  
は、よ」と言いながら、自分で星図を指  
しました。「そこはかとなく白い銀河を大  
きない望遠鏡で見ますと、もうたたくさ

から、みなさんは外へでよくそらをこら  
んなさい。ではここまでです。本やノート  
をお終いなさい」  
そしてしばらくの静けさがあったりした  
り本を重ねたりする音がいつぱいでした  
が、まもなくみなさんはきちんと立って礼を  
すると教室を出ました。  
ジョバンニが学校の門を出るとき、同じ  
組の七、八人は家へ帰らずカムパネラを  
まん中にして校庭の隅の隅の木の下に